

1月号

今こそ修正力

校長 桐ヶ谷 淳子

学 校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

令和4年が始まりました。元日の気持ちの良い青空を見ながら、「今年こそは穏やかな1年になりますように」と願ったものですが、新型コロナの感染拡大は、当分収束しそうにありません。

元日の新聞に、将棋の藤井聡太竜王とパラリンピック金メダリスト国枝慎吾テニスプレイヤーの対談が載っていました。意外な組合せですが、将棋とテニスの共通点や大会に臨む心構え、試合中のルーティーンなどが書かれていて、楽しく記事を読みました。その中でも特に印象に残ったのは、国枝さんの話す「修正力」に関する箇所です。国枝さんはプレイ中自分が不利になると、常にその状況を冷静に分析し、打開するために必要なことを考えるそうです。今のプレイスタイルが相手に通用しないのなら、違う引き出しを開けて違うことをやってみる、その「修正力」が自身の強みであり、それで人との差をつけてきたといいます。

記事を読んで思ったのは、この「修正力」は今後ますます必要とされるだろうということです。今のコロナ禍もそうですが、危機に直面した時こそ、冷静に状況を分析し、最適な結果を得るために必要なことを考え、柔軟に自分を変えていかなければなりません。そして、学校にもこの「修正力」が求められているのだとあらためて感じました。

3学期も、教育活動の継続のために、学校では基本的な感染対策の徹底を図ります。

保護者のみなさまにも、引き続き検温や健康観察チェックシートの提出等、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。